

(調査研究発表会のご案内)

## 平成28年度 環境改善調査研究成果発表会を開催します

- 日時 平成29年3月7日(火) 14:00-15:40 (13:30 受付開始)
- 会場 ステーションコンファレンス東京 6階 605 (JR 東京駅日本橋口直結東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結)

平成29年2月27日(月) 連絡先 044-520-9570  
独立行政法人 環境再生保全機構 予防事業部  
課長 日高 桂子  
担当 石上 恵梨子

環境分野の政策実施機関である環境再生保全機構(神奈川県川崎市、理事長/福井光彦)は、平成28年度に実施した局地的な大気汚染の改善や微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)対策に関する調査研究成果を発表する「平成28年度環境改善調査研究成果発表会」を、下記のとおり開催します。

環境再生保全機構は大気環境を改善するための調査研究を行っており、平成26年度に「局地的な大気汚染地域の改善に関する調査研究」と「幹線道路沿道の微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)対策に資する調査研究」の2課題の公募を行い、採択された3つの調査研究のうち2つを平成28年度も継続して実施しています。(1つは前年度終了)

このたび、これら2つの調査研究について、平成28年度の成果の発表会を行います。

環境再生保全機構は、公害健康被害予防事業として、大気環境の改善に関する普及・啓発事業、大気汚染の影響による健康被害(ぜん息等)の予防に寄与するためのパンフレットの作成や講演会などの開催を行っています。詳細は、環境再生保全機構ホームページ(<http://www.erca.go.jp/yobou/>)を御覧ください。

### 【開催概要】(詳しくは別添プログラム参照)

#### 日時

平成29年3月7日(火)  
14:00-15:40 (13:30 受付開始)

#### 会場

ステーションコンファレンス東京 6階 605  
(JR 東京駅日本橋口直結  
東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結)



定員 70名 参加費 無料

#### 内容

- ・発表①「自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法に係る対策地域における NO<sub>2</sub> 環境基準確保の評価手法に関する調査研究」  
発表者：株式会社数理計画
- ・発表②「道路沿道環境における微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)及びナノ粒子に及ぼす要因に関する調査研究」  
発表者：公益社団法人大気環境学会

\* 当日取材を希望される方は、平成29年3月2日(木) 15時までに、連絡先電話番号(044-520-9570)までお問い合わせください。

## 「環境改善調査研究成果発表会」プログラム

日 時：平成 29 年 3 月 7 日（火） 14：00～15：40 （開場 13：30）

場 所：ステーションコンファレンス東京 6階 605

東京都千代田区丸の内一丁目 7 番 12 号 サピアタワー6階

- ・JR 東京駅日本橋口直結新幹線日本橋口改札徒歩 1 分、八重洲北口改札徒歩 2 分
- ・東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結

13：30 開場

14：00 挨拶 独立行政法人 環境再生保全機構 理事  
藏重 徹雄  
環境改善調査研究評価委員会 委員長  
若松 伸司（愛媛大学名誉教授）

■局地的な大気汚染地域の大気汚染の改善に関する調査研究

	発表課題名
<p>14 : 05～14 : 50 株式会社 数理計画</p>	<p>◆「自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法に係る対策地域における NO<sub>2</sub> 環境基準確保の評価手法に関する調査研究」</p> <p>環境省は、「平成 32 年度までに対策地域において NO<sub>2</sub> 及び SPM に係る大気環境基準を確保することを目標とする。ただし、平成 27 年度までにすべての監視測定局における NO<sub>2</sub> 及び SPM の大気環境基準を達成するよう最善を尽くす。」という新たな基本方針を示した。</p> <p>本調査研究では、これまでの手法（常時監視測定結果、窒素酸化物総量規制マニュアル準拠の濃度予測方法（構造物等の局地要因の考慮が困難）、簡易測定手法による測定等）では難しかった「NO<sub>2</sub> が高濃度になると予想される地区※を抽出する手法」を構築した。</p> <p>なお、本調査研究は、平成 26～28 年度の 3 カ年の計画である（今年度は 3 年目）。1 年目は手法を構築し、2 年目は手法に係る感度解析や抽出した高濃度地点での環境測定（公定法、風向風速等）を実施した。3 年目は、これまでの成果を踏まえて手法を再検討し、当該手法の運用方法について、手順書を取りまとめた。</p> <p>※高濃度になると予想される地区：本手法では、必ず高濃度になるという意味ではなく、高濃度になる可能性がある地区（高濃度になるポテンシャルを有する地区）という意味である。</p> <div data-bbox="443 1115 1353 1792" style="text-align: center;"> <p>図：NO<sub>2</sub> が高濃度になると予想される地区の抽出例</p> </div> <p>「大気環境レベル」が閾値以上となった評価地点は紫色に表示</p>

■幹線道路沿道の微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）対策に資する調査研究

		発表課題名			
14：55～15：40 公益社団法人 大気環境学会	◆「道路沿道環境における微小粒子状物質（PM <sub>2.5</sub> ）及びナノ粒子に及ぼす要因に関する調査研究」				
	<p>調査研究（平成26～28年度）では、川崎市臨港警察署前交差点付近の道路沿道及びその後背地における粒子を分級捕集して成分分析を行い、粒径毎に自動車由来粒子の寄与を推定した。また、当該地点において、2004年度から環境省と国立環境研究所とが実施してきた道路沿道におけるナノ粒子を含む微小粒子の観測結果を再解析し、自動車からの粒子状物質排出量推計結果と併せることで、道路沿道のPM<sub>2.5</sub>等に及ぼす自動車の影響を明らかにした。さらに、PM<sub>2.5</sub>濃度や有機エアロゾル濃度の自動車の寄与の日内変動を明らかにした。</p> <p>また、自動車からの粒子状物質排出量推計について、これまで把握対象外であったガソリン車由来のPM<sub>2.5</sub>排出量を新たに推計することに加えて、排出量推計の専門家等から構成されるワーキンググループを組織し、自動車からの大気汚染物質排出量推計手法について検討した。検討の結果、今後の大気環境評価に必要な実環境における排出量推計を行うためには、排出補正に使用している補正係数データの更新が必要など、多くの課題があることが明らかになった。得られた結果をもとに、課題への対応策や課題を解決するために必要な調査や研究課題についても検討を加え、今後の排出量推計手法の方向性を示した。</p>				
3年間の実施計画					
		(1) 道路沿道におけるPM <sub>2.5</sub> 等に及ぼす要因解析		(2) 自動車からのPM <sub>2.5</sub> 排出量推計	
研究項目		① 道路沿道におけるナノ粒子を含む微小粒子の粒径分布測定	② 沿道大気・後背地における粒径別エアロゾル試料を用いた自動車排気由来の寄与率の推定	① ガソリン車からのPM排出量推計	② 排出量推計手法の検討
平成26年度	↑ H26年10月 ~ ↓ H28年9月	川崎市臨港警察署前交差点 ・PM <sub>2.5</sub> 、ナノ粒子連続測定	川崎市臨港警察署前交差点と後背地 ・PM <sub>2.5</sub> 、ナノ粒子捕集・成分分析	・PM排出データの収集、整理	・幹線道路及び細街路の走行量の車種別走行量配分等の検討
平成27年度			○ H27年1月 ○ H27年8月 ○ H28年1月	・収集データ解析 ・ガソリン車PM排出係数設定	・排出量補正方法の検討 (環境条件、排気浄化装置の劣化等)
平成28年度			○ H28年8月 データの解析 (発生源寄与解析、自動車の寄与説明)	・ガソリン車を含めた排出量を推計 ・推計手法についての検討結果取りまとめ	

■参加申込：参加ご希望の方は、別紙参加申込書で3月2日（木）までに下記あて、FAXにてお申し込み下さい。

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番  
 ミューザ川崎 セントラルタワー8F  
 独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部 事業課  
 成果発表会担当 FAX 044-520-2134

■ご案内：ステーションコンファレンス東京 6階 605（サピアタワー 6階）



東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー6階

◇電車

- ・ JR 東京駅日本橋口直結  
新幹線日本橋口改札徒歩1分、八重洲北口改札徒歩2分
- ・ 東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結

担当：  
独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部 事業課  
成果発表会担当 石上  
電話 044-520-9570 FAX 044-520-2134  
<http://www.erca.go.jp/yobou/>

年 月 日

## F A X 送信票 (参加申込書)

(独) 環境再生保全機構 予防事業部 事業課 行

FAX 番号 044-520-2134

送信元

〒

.....  
住所

.....  
所属

.....  
氏名

.....  
TEL

.....  
FAX

### 環境改善調査研究成果発表会

日時：平成 29 年 3 月 7 日 (火)

場所：ステーションコンファレンス東京 6 階 605

出席のご予定

お名前	所属	連絡先 (TEL/FAX 等)

〈本件担当〉 予防事業部事業課 石上

TEL : 044-520-9570

FAX : 044-520-2134

※本票で 3 月 2 日 (木) までにご連絡ください。